



地域・駅・新幹線ニュースレター

はっしん！新青森



青森県立青森西高等学校
Aomori Prefectural Aomori Nishi Gender High School

青森大学社会連携センター
AOMORI UNIVERSITY

2022年12月20日(火)
第38号 【FREE】

青森大学・青森西高等学校
高大連携事業
協力：JR東日本新青森駅



東北新幹線・新青森開業12周年

ツリー点灯、記念切符を配布

2010年の東北新幹線全線開通・新青森駅開業から12周年に当たる12月4日、記念のセレモニーが新幹線コンコースで開かれ、年末に合わせたクリスマスツリーの点灯や記念切符の配布、ゴスペルコンサートなどが繰り広げられました。

イベントでは澤村郁子駅長が、在来線・奥羽本線の駅として1986年に誕生した新青森駅が、新幹線駅として生まれ変わった36年の歴史を振り返りながら「多くの皆さまに支えられた感謝の気持ちを伝えたい」「多め、ステージイベントをご用意しました。ぜひ、お楽しみください」とあいさつしました。

続いて、青森市の小浜保育園の園児が参加してクリスマスツリーが点灯され、子どもたちは「きよこの夜」

のハンドベル演奏と「ジングルベル」の踊りを披露して、詰めかけた観客から大きな拍手を浴びました。
また、開業記念イベント恒例になったゴスペル・チーム「ARISE」(アライズ)の歌や、ピアニスト・黒龍浩さん、[MISAWA GOSPEL CHOIR] (三沢ゴスペルクワイア) による演奏が披露され、駅を利用する人たちを魅了しました。

12周年の記念に、入場券をまねたデザインの切符



され、通りかかった人たちがほほ笑みながら見入っていました。

新青森駅は2010年12月4日に東北新幹線開業を迎えました。当時はE2系列車「はやて」が3時間20分かけて東京-新青森間を結んでいましたが、翌2011年3月にE5系列車「はやぶさ」が登場。宇都宮-盛岡間で、それまでより25km速い最高時速300kmで運転を始め、所要時間は3時間10分になりました。

現在は最高時速320kmで、東京-新青森間を最短2時間58分で結んでいます。



八戸駅、青い森鉄道は20周年

王林さんら出席し式典



東北新幹線が八戸駅へ到達し、第三セクター「青い森鉄道」が運行を始めて、2022年12月1日で20周年を迎えました。節目を祝うイベントが12月3・4の両日、駅の自由通路や周辺一帯で開かれ、市民らが20年の歩みに思いを馳せながら、次のまちづくりに向けて誓いを新たにしています。

式典では、熊谷雄一八戸市長、吉田正樹八戸駅長、一日駅長を務めたタレントの王林さんらがくす玉を割って祝福しました。また、青い森鉄道フォトコンテスト2022の表彰式、王林さんと地元タレント・十日市秀悦さんのトークなどが繰り広げられました。

人気を集めていたのが、この日限定で販売された東京・丸の内ホテル特製の「伝統のアップルパイ」はちのヘスベシヤルで、200個が2時間ほどで完売しました。

また、鉄道関係の物販コーナーでは、JR東日本や青い森鉄道、八戸臨海鉄道が、実際に使われていた行先標、マスコミキャラクターをあしらった文房具などを出



品し、鉄道ファンが買い求めています。

東北新幹線は1982年に大宮-盛岡間が開業した後、上野延伸、東京延伸を挟んで、20年目に盛岡-八戸間が開業しました。



青森西高校「青西おもてなし隊」がゆく③⑧

小豆粥を神様に 雪の始まりの「ダイシコ」

今号は青森県立青森西高校「おもてなし隊」顧問の清野耕司教諭が、青森の冬の民俗行事を紹介します。

◇ ◇ ◇

青森県内では、かつて旧暦の11月23日に「ダイシコ」と呼ばれる家毎の年中行事が広く行われていました。ちなみに、今年は12月16日にあたります。ダイシコは雪が本格的に降り始める頃の行事で、県内では小豆粥あずきなどを作り、カヤなどで作った長い簀はしを添えて、神様に供えました。「ダイシ」様は貧乏の子だくさんで、長い簀を使って子供たちに食べさせるのだと言いまし

た。また、この日の夜は決まって天候が荒れて吹雪になりました。昔、ちようどこの日の夜、一人の貧しい老女の家へダイシが訪ねて来たが、もてなすにも家には食べ物など何もなく、悪いことは知りつつも、隣家の田んぼに行って稲の穂を盗んでしまいました。ダイシはその志をあわれに思い、雪を降らせて老女の足跡を隠したと言われています。

ダイシコは、諸国を巡り人々を救う弘法大師の伝説と重なって、全国的にはダイシを弘法大師とする地域も多いのですが、この日にまつられる「ダイシ」とは

青森県立美術館

コレクション展2022-3

櫻庭利弘、阿部合成らの作品紹介

青森県立美術館で2023年1月29日（日）までコレクション展2022-3が開かれています。

特別企画は画家・櫻庭利弘の足跡をたどる「デモシカ先生の絵画道」です。櫻庭は青森県深浦町に生まれ、代用教員を経て小学校教員となり、独学で油絵を学びました。教員不足を背景とした、正式な教員資格を持

たない代用教員らは「先生にデモなるか」「先生にシカなれない」と呼ばれたといい、櫻庭は自らの半生を近年、「デモシカ先生回想記」という本にまとめています。

展示では、海辺の光景や磯の生き物をモチーフにしたという作品、あるいは人の体や臓器を連想させる混沌としたうねるような作品が並び、幻想的な世界へ誘われます。工藤哲巳、村上善男などつながりのある作家6人の作品も紹介しています。

また、青森市浪岡出身の画家・阿部合成の没後50年にちなみ、彼の薫陶を受けた彫刻家・小坂圭二（没後30年）、同じく彫刻家・特撮美術監督の成田亨（没後20年）の作品を組み合わせた「真実と浪漫の系譜」も



注目されます。企画した池田亨・美術統括監は「構図や造形の親和性だけでなく、モラルに敏感で、戦争の災禍にも強い思いがあった3人の共通点を感じていた

だければ」と話しています。

入場料は一般510円、大学生・高校生300円、小中学生100円です（1月15日まで小中学生無料）。



三内丸山遺跡



「縄文の冬」思いめぐらせ 散策いかが？

三内丸山遺跡にも冬が訪れました。「6本柱」や復元された大型竪穴建物は、すっぽり雪に覆われています。

冬は遺跡見学には向かない季節のように思われるかもしれませんが。しかし、縄文の人々の暮らしを考えると、冬に遺跡を訪れてこそ、彼らのたくましさや知恵に気づかされる気がします。

彼らは雪をものともせず、土器を作り、この規模の建物を建て、土を盛り上げて暮らしていたようです。大型竪穴建物は、共同生活で冬を乗り越えるために造

られた、という説もあるといえます。

冬の間も、三内丸山遺跡は各種のSNSで活発に情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。

また、冬は三内丸山遺跡にとってメンテナンスの季節でもあります。一部、工事のため立ち入りできない区域や期間があります。ご注意ください。

★Twitter ★Instagram ★Facebook



見学時間 9:00～17:00（入場は開館の30分前まで）
休館日 毎月第4月曜日（祝日の場合は翌日）、12月30日～1月1日
観覧料 一般410円（330円）／高校・大学生等200円（160円）／中学生以下 無料
※（ ）内は20名以上の団体料金
※特別展は別料金。展示内容により変更する場合があります。
※個人観覧者は、青森県立美術館のチケット提示で割引特典あり。
（詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。）
お問合せ 〒038-0031 青森市三内字丸山305
TEL.017-766-8282 / FAX.017-766-2365
URL https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp



青森県立美術館

開館時間 9:30～17:00（入場は16:30まで）
休館日 毎月第2、第4月曜日（祝日の場合は翌日）
※企画展開催時、展示替等により変更する場合があります。
観覧料 一般510円（410円）／高校・大学生300円（240円）／小学生・中学生100円（80円）
※（ ）内は20名以上の団体料金
※企画展は別料金。展示内容により変更する場合があります。
※個人観覧者は、三内丸山遺跡センターのチケット提示で割引特典あり。
（詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。）
お問合せ 〒038-0021 青森市安田字近野185
TEL.017-783-3000 / FAX.017-783-5244
URL https://www.aomori-museum.jp



新青森駅 → 三内丸山遺跡センター：循環バス「ねぶたん号」（東口）約20分・300円、タクシー（南口）約10分・1,000円前後、徒歩約30分
→ 青森県立美術館：「ねぶたん号」（東口）約11分・300円、タクシー（南口）約10分・1,300円前後、徒歩約40分

Facebook ページ Instagram アカウント



＜ネット情報＞
Facebook ページとInstagram アカウントを開設し、独自の記事・情報を掲載しています。ご意見をお寄せ

下さい。また、PDF版を青森大学社会連携センターのFacebook ページに掲載しています。いずれも、右側のQRコードからご覧いただけます。

☆このニュースレターは、青森大学社会学部・櫛引研究室が企画・制作し、文責を負っています。お問い合わせ、ご意見等は下記連絡先へお願いします。

FB ページ



青森大学 社会連携 センター

Instagram

